

大会名：茨城遠征「SUPER COPA U-11大会」

日程：平成28年7月16日(土)～18日(日)

会場：茨城県

参加：T5クラス 11名

帯同：渡邊コーチ

予選リーグ

VS Wings (TOP) 0:14 ●

VS GROW (B) 0:3 ●

VS スポルト (A) 1:2 ●

VS ときがね (B) 0:0 △

5位トーナメント

VS 上本郷 0:6 ●

VS スポルト (B) 3:2 ○

結果：19位(20チーム中)

FM 初日：ときがね(A) ● スポルト(B) ○ スポルト(B) ●

2日目：ヴィスポ ● 行田東(B) ○

3日目：ヴィスポ ●

3年連続の帯同となりました「SUPER COPA U-11大会」について報告です。T5クラスの選手にとっては、洗濯から布団や食事の片付けを自分でするなど貴重な経験をした三日間でした。

それでは、“チームWatanabe2016 U11”の戦いを振り返りたいと思います。

今回の“チームWatanabe2016 U11”の約束事は「3つ」です。

約束その1：相手にボールを奪われたら3秒以内に取り戻された選手がボールを奪いにいくこと。

約束その2：自陣エリアでは、ピッチ中央へボールを入れずにサイドを使うこと。

約束その3：仲間を励ます声かけをすること。

そんなことを約束して大会に臨みました。

チームとしての結果については、妥当な順位だったとおもいます。やはりリフティング回数上位者は、トラップ、キック、ドリブルが通用すると感じました。逆に、リフティング回数が伸び悩んでいる選手は、やはりこのレベルの大会になると苦しんでいる感じがしました。このあたりの選手間のスキルの差が試合の結果に通じていたとおもいます。あと気になったことが一つ。それは、このメンバーの大半が、スタメンで試合に出たくないという事実。これには、正直参りました。スタメンの名前を伝えたところ、前半

は様子を見たいので、後半からでお願いします」や「頭が痛い」「目がクラクラする」「トイレに行ってきます（と言って試合が始まって戻って来ない）」などと言いだす始末です。気温が高いこともあるため、熱中症の心配もあり余り無理をさせませんでした。そんなチーム状態ではありましたが、正直、試合を重ねるごとに選手それぞれが成長していくのを実感できた大会でもありました。大敗した試合もありましたが、選手たちは最後まで諦めずに一生懸命ゴールを目指しプレーしていました。

試合の総評

WINGS(TOP)戦

個々が全てにおいて負けていました。

GROW (B) 戦

WINGS (TOP) 戦後、ミーティングを行い素晴らしい形で試合を進めていたが再三のチャンスを外してしまい、逆に相手に数少ないチャンスをものにされてしまいました。しかしながら、選手一人一人が本当にハードワーク出来ていた試合でした。

スポーツ (A) 戦

GROW (B) 戦同様、中盤のボールをほぼ支配していたのでシュートチャンスが多かったのですが、やはり決めきれず、最後は相手のミドルシュートにやられました。

ときがね (B) 戦

シュートチャンスは、相手チームよりも多かったと思いますが、やはり決めきれず。サイドから崩して中へという形ができていたのですが、決めきれない。必死に守ってスコアレスドローでした。

上本郷 戦

朝起きた時から体が重そうな選手が多々。さすがに2日間で9試合戦ってきた疲労があるようでしたが、アップでは軽快が動きを見せていました。しかし、試合が始まると全体的に前への推進力がなく、相手に選手間の隙間を上手く突かれ失点を重ねました。ハーフタイムに修正を試みましたが、最後まで対応することが出来なかったのは残念でした。

スポーツ (B) 戦

シュートチャンスを数多く作りだし、ゴールを決めていました。守備に関しては、ボールを奪われてからの切り替えが少し遅かったとおもいます。

FM 戦

4チームそれぞれ特徴があり、選手たちも良い経験を積むことができました。

感想

試合結果（得失点）だけをみると、このチームは大丈夫なのかと思いますが、選手た

ちは全員やりきった3日間でした。試合を重ねるごとに成長していく姿を見ることが出来て、私自身、帯同していて非常に楽しかったです。初戦で大敗した後、自分たちで今の自分たちに“出来ること”と“出来ないこと”を正しく認識したことで、その後は、毎試合素晴らしいゲームを披露してくれました。結果的に、このクラスはフィジカル的なこともあり、キック力のある選手が少ないため、どうしてもボールを運ぶ手段がドリブルメインとなるので、結果が伴わないことが多々ありました。しかし、体は後々大きくなりますから、安心して下さい。私が、「チーム Watanabe2016 U-11」メンバーに望むことは、この3日間で“出来ること”が増えたと思います。試合中に自分が思ったようにプレー出来れば楽しく、思ったようにプレーができなければ苦しいということが身をもってわかったと思います。もっとサッカーを楽しみ好きになるために今以上に“出来ること”を増やしていきましょう！

最後に、今年もこのような素晴らしい大会にお誘いいただきました“ゆうゆうツーリストさん”大会を運営していただいた“WINGSさん”“ラルクヴェール千葉さん”“花園SCさん”ありがとうございました。

また、遠方にも関わらず多くの差し入れをいただき、応援していただいたご父兄の皆さん、ありがとうございました。OBの川口慎之介くんサポートありがとうございました。選手たちは来年リベンジすると意気込んでいますので、引き続きご支援ご協力のほど、よろしくお願い致します。本当にありがとうございました。

～ 容赦なく太陽が照りつけるピッチ シュートのたびに聞こえる悲鳴

焼けた肌に白い髪 そして 派手なパンツ Watanabe はここにいます ～







